

神奈川県開成町町議会

事績 2 住民に開かれた議会

(1) インターネット利用した本会議映像のライブ配信及び録画映像の配信について

令和2年6月29日、開成町議会基本条例に基づき、多くの町民が議会及び調整に関心をもち、また、公正性や透明性を確保し更に開かれた議会とするため、「議会ICT化に関する検討委員会」(以下「委員会」という。)が設置された。

本委員会は、議会ICT化を進める意義として、第一に、議会の見える化・魅せる化、そして、第二に、議会運営の効率化・迅速化及び議会の活性化が図られることを最も重要視した。

委員会で討議を重ねた結果、令和3年3月30日に「開成町議会の映像配信に関する規程」を公布し、より多くの町民に議会を身近に感じてもらえるよう、令和3年6月定例会議から、会議内容を全て生中継によりインターネットを利用して公開し(ライブ配信)、及び後日、録画映像においてもインターネットを利用して公開することとした。

また、委員会では、一般質問の録画映像に、字幕をつけることを決定し、議会のバリアフリー化にも配慮した。

今まで、議場に足を運び傍聴すること以外に、本会議等の内容を確認する選択肢がなかったが、ライブ配信及び録画映像配信を実施したことで、コロナ禍で傍聴を控えている町民の方や平日に傍聴に来られない方等、様々な生活スタイルがある中でも、いつでもどこでも議会を傍聴していただく機会が創出され、幅広い年代に議会に関心を持ってもらえるきっかけとなった。

また、録画映像の公開方法も工夫しており、議会の日程、議員の氏名及びキーワード検索の3種類の方法から録画を見ていただけるようになっている。

子どもを含めた幅広い年齢層に議会活動の可視化が進むよう、今後も創意工夫を図り、より開かれた議会となるよう改革を進めていきたいと考える。

(2) 議会広報紙の改革について

インターネット利用した本会議映像のライブ配信及び録画映像の配信の取組を更に周知するため、議会広報紙「開成町議会だより」207号から表紙を含め、内容を刷新した。

まずは議会広報紙を手にとって読んでいただけるよう表紙では、従前の風景写真ではなく、開成町議会映像インターネット配信サイトを開いたパソコンを小学生に見ていただき、その模様を表紙とした。そして、より柔和な印象を持ってもらえるよう表紙の議会広報紙タイトルを「議会だより」から「ギカイだより」に変更した。

また、2頁3頁はカラー印刷を試み、開成町議会映像インターネット配信の操作説明を小学生の質疑方式で分かり易く表現した。

ページ数も大幅に削減し、本会議及び随時会議の審議結果や各常任委員会のレポートにおいても、文字のフォントを大きくし、かつ、文字数を削減して、読みやすく視覚的視点においても、読者に優しい紙面構成とした。

議会広報紙の改革は、様々な意見を取り入れる開かれた議会であるからこそ障害も多く、また、議会広報紙の在り方には正解がないとも考えられるが、ICTを積極的に活用し推進を進める当議会において、議会広報紙もまたICTの取組を組み入れながら、議会の関心を高める媒体として、これからもより一層、町民の立場に寄り添い、世代を超えて愛着を持っていただける紙面構成となるよう発行毎に少しずつ改革を加え、議員そして議会事務局一同、尽力していきたいと考える。